



「キャリア教育」の実践

校長 西 哲也



キャリア教育とは何だろう。そう思われる方もたくさんいると思います。英語をそのままカタカナで表記したときに、日本語にピタッと当てはまらない言葉はなかなかイメージがわからないものです。コンプライアンス（法令遵守）アカウンタビリティ（説明責任）など、ニュース番組で使われているのを聞かされたときに「何だったかなあ」「日本語を使えばいいのに」と思ってしまう。

本題ですが、キャリア教育とは「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」となります。もう少し簡単に表現すれば「将来の生き方について考える」教育のことです。ただし、ここで言う生き方とは、道徳的なことではなく社会人・職業人としての生き方です。ややこしいですが、これまでの進路指導に生き方という視点を加えたものと考えていいと思います。

さて、本校のキャリア教育は、「夢実現」と「島の未来を創る」を目指しています。夢実現は学校教育目標にある通りです。「島の未来を創る」というのは、他の中学校ではあまりない視点です。消滅する可能性があると言われる中で、島の未来をつくっていくのは、ここで生まれ育った生徒たちです。島を出るにしても島に残るにしても、島のよさや課題を中学生期にしっかり受け止め、「何が必要か」「何が求められるか」を考えておく。そういう経験を重ね、知識を得ておくことで、自分の夢の実現としての職業選択と島の課題解決が少しでも結びつくことを願っています。難しいことではなく、「保育士が少ない」「産科医が少ない」「畜産農家の現象による供給不足」・・・そういう現状を早くから学んでおくことで、進路選択や学習への意欲・取組が高まっていくのではないかと思います。島の現状や課題について地域の方に話を聞く機会を設けるなどして、多方面から生徒に考えさせたいと思います。

すでに保護者の皆様にはアンケート等に協力をいただき研究実践に生かしております。中学校でのキャリア教育の実践が10年後20年後、一人でも二人でも島に貢献するという形で花が開くことを期待しながら実践を進めます。

島立ちをするまでにどのような力を身につけさせたいと考えていますか。【保護者アンケートより】

- ◇ 困難なことに遭遇してもへこたれず、前向きに一步でも前進できる。
- ◇ 困難なことを乗り越えられるたくましい精神力。折れない心。◇ しなければならないことを逃げずに取り組もうとする力。
- ◇ 困った事が起きた時に、自分で解決したり、誰かに相談したりして自ら立ち向かっていける。
- ◇ 何か問題が起きた時に、くじけずに対処できる力や他人に頼れる勇気
- ◇ 落ち込んだ時にやる気スイッチを切り替える力 ◇ 失敗しても気持ちを切り替えて、前に進んでいこうと努力する力。
- ◇ 一人で正しく判断し実行する力強さ ◇ 善悪の判断がきちんとできる。◇ 周りに流されない信念を貫く気持ちの強さ。
- ◇ コミュニケーション能力 ◇ 意思表示がきちんとできる。◇ 自分の気持ちを相手にしっかり伝えられる。
- ◇ 相手の考えを見極める力。◇ 自分自身で自分の生活や命が守れる。◇ 律して生きる力 ◇ 生活する力(料理等)
- ◇ 自らの将来の夢に向かって学習する意欲。◇ 資格取得

※ 自己管理能力、コミュニケーション能力、課題対応能力を育てたいという意見が多くありました。

